

第7回北谷町地域公共交通会議議事録

- 1 開催年月日：平成30年3月12日（月）
- 2 会議時刻：10時00分から
- 3 会議場所：北谷町役場3階庁議室
- 4 出席委員
 - (1) 神山 正勝 北谷町副町長
 - (2) 神谷 大介 琉球大学工学部工学科准教授
 - (3) 西倉 浩 内閣府沖縄総合事務局運輸部陸上交通課長
 - (4) 伊志嶺 友浩 内閣府沖縄総合事務局運輸部企画室長補佐※代里出席
 - (5) 下地 博明 内閣府沖縄総合事務局南部国道事務所副所長
 - (6) 大城 太 沖縄県中部土木事務所技術総括
 - (7) 呉屋 厚 沖縄県警察沖縄警察署交通対策課長
 - (8) 名嘉山 敬雄 沖縄バス株式会社運輸部業務課長
 - (9) 仲間 直克 株式会社琉球バス交通 業務課係長
 - (10) 慶田 佳春 一般社団法人沖縄県バス協会専務理事
 - (11) 喜屋武 悟 私鉄沖縄県労働組合連合会執行委員長
 - (12) 津波古 修 一般社団法人沖縄県ハイヤー・タクシー協会事務局長
 - (13) 米須 義明 北谷町商工会会長
 - (14) 渡真利 聡 北谷町観光協会会長
 - (15) 津嘉山 えり子 北谷町自治会長連絡協議会会長
 - (16) 岡村 悦子 北谷町美浜区自治会長
- 5 欠席委員
那覇バス株式会社
 - (1) 大城 幸和 那覇バス株式会社業務部次長
 - (2) 東江 一成 沖東交通事業協同組合代表理事
 - (3) 玉城 清松 北谷町老人クラブ連合会会長
- 6 事務局
 - (1) 北谷町役場

- ①仲松 明 企画財政課長
- ②勢理客 一之 企画調整係長
- ③田仲 康人 企画財政課主任主事

(2) ランドブレイン株式会社

- ①東 満伸 沖縄事務所所長
- ②瀬戸 慎一 公民連携グループ主任
- ③尾池 大祐 研究員

7 説明又は意見を求めるために出席した者：なし

8 傍聴人：0名

9 議 題

- (1) 北谷町コミュニティバスの利用状況等の検証・分析結果（報告）
- (2) 平成30年度北谷町コミュニティバス実証運行実施計画について

10 会議資料

- (1) 次第
- (2) 座席配置図
- (3) 第6回北谷町地域公共交通会議 議事要旨
- (4) コミュニティバス（C-BUS）利用状況等の検証・分析【資料1】
- (5) 平成30年度北谷町コミュニティバス実証運行実施計画（案）【資料2】
- (6) 平成29年度～30年度コミュニティバス導入検討事業スケジュール（予定）【資料3】

11 会議内容

議長：	1. 開会 みなさん、おはようございます。昨年の年末に第6回公共交通会議を行い、年末の忙しい中皆さんにご出席を頂きました。今回は、年度末の大変忙しい中ご出席いただきまして、大変感謝申し上げます。それでは第7回北谷町地域公共交通会議を行います。会議に入る前に事務局から会議成立の報告をお願いします。
事務局：	委員19名中16名が出席していますので会議の成立を宣言したいと思います。
議長：	本日の会議は、北谷町地域公共交通会議設置要綱第6条第2項の規定により本会議は成立しています。次に会議録署名委員を指名させていただきます。本日の会議録署名委員を岡村委員にお願いしたいと思います。よろしいでしょうか。

	委員～異議なし～
議長：	それでは、よろしく申し上げます。
	2. 本会議の経緯及び趣旨説明
議長：	本日の会議の趣旨説明とこれまでの経緯について事務局から説明をお願いします。
事務局：	本会議の経緯及び趣旨説明
議長：	第6回公共交通会議の議事内容の報告と今回提案されている議題の報告がありました。報告について質疑・意見等ございましたらお願いします。 委員～特になし。～
	3. 議題
議長：	それでは議題に入ります。議題（1）北谷町コミュニティバス利用状況等の検証・分析結果について報告をお願いします。
事務局：	議題（1）北谷町コミュニティバス利用状況等の検証・分析結果について報告
議長：	ただ今、コミュニティの利用状況について報告がありましたが、実はこの報告事項は前回の会議では平成29年11月30日までのものをまとめて中間報告していました。今回は平成30年2月28日までのデータを基に報告がありました。このことについて、質疑・意見等ございましたらお願いします。
委員：	2点あります。1点目は、資料1の1頁では高齢者・障害者の利用が多いという話がありましたが、高齢者・障害者の利用が多い便を教えてください。2点目は、収支率について現状の見通しはどの程度の値でしょうか。
事務局：	利用の多い便については、手元の資料では整理をしていないのが現状で、データを見れば分かりますので、確認をして整理します。今、明確にお答えすることができないということです。収支率については、平均で7%程度となっており、一番高い8月では8.2%で、何とか10%にしたいと思っています。
委員：	1点目については、ダイヤに関係してくると思っています。そもそも高齢者の利用支援でしたので、実際、どの便に需要があるのでしょうか。高齢者の移動支援として、買い物を中心なのかサークル等の集まりが中心なのか、高齢者を軸にダイヤを考えていただければと思います。
議長：	収支率について再度検討を行うと書いていますが、どのようにするのでしょうか。収支率を達成するためにいろいろな改善をしていくのでしょうか。それとも、収支率そのものを下げるのでしょうか。
事務局：	現状の目標値では達成の見通しが立たないですので、現実的な目標に変えることを考えています。当初、実証運行の財源として一括交付金を活用

させてもらい、平成 30 年度が最終年度となっています。この採択を受ける時に、高齢者がストレスなく移動できるということ、さらに観光客の移動もスムーズにというところを大きくアピールして一括交付金いただいた経緯があります。この事業を構築するときに町民アンケートを頂き、高齢者が多く使うと把握しています。また病院や買い物に行く人が多くを占めるだろうということでコースに反映しています。その報告書ではアンケートに基づいた推計値として 25%の収支率と設定していました。しかし、一括交付金の関係で 40%に変更して交付決定を頂いた経緯があります。平成 29 年 6 月から実証運行がスタートし、実際の数値をみると 7%でした。目標値に向かって周知活動や乗り継ぎがスムーズにいくような工夫は 30 年度に向けて考えていますが、30 年度については目標値を報告書に謳われている当初の 25%に下げることが内閣府と事業者に伝えています。

議長： それでは次の議題に入ります。(2) 平成 30 年度北谷町コミュニティバス実証運行実施計画について事務局から説明をお願いします。

事務局： 平成 30 年度北谷町コミュニティバス実証運行実施計画について説明

議長： 平成 30 年度の事業計画について説明がありました。平成 29 年度と変更が無いのはどれでしょうか。

事務局： 変更が無いのは、運行形態と車両及び運賃です。

議長： それでは、ただ今の実施計画についてご意見がありましたらお願いします。

委員： 新コースと旧コースの運行距離と運行時間の差、そしてバス停の改廃があれば教えて下さい。

事務局： 新旧ともに北コース、南コースでは概ね 22km で、両コースとも約 80 分で運行しています。バス停の改廃につきましては、上樋川が使えなくなりますので、なくなります。南コースの北玉公民館入口の上に北玉公民館がありました交通安全上の観点からなくしました。そして、県道を通って玉上に向かっていくルートに変更しています。また、国体道路に迂回するためのルートで、役場近くの伊礼原公園前、第二伊平、北谷高校前が追加となっています。(事務局)

委員： 資料 1 の 15 頁で運行ルートバスの見直しが必要と書かれていますが、ほぼ現状のように見受けられますが、見直しして路線を短くして本数を増やすことは考えないのでしょうか。

事務局： 今回のルート見直しで運行時間が伸び、利便性が低下するとご指摘いただいています。また各バス停の乗降者数は出ていますので、削除することは考えられますが、現時点で次年度の運行から変更することは決定できていません。今後、収支率を考えてバス停の削除は検討しなければならない

	と考えています。
委員：	別紙 2 - 3 のバス停 31 保険相談センターから 38 保険相談センターと なって同じところを通っているように見えますが意図的に設定している のでしょうか。
事務局：	元々のルートは小学校から北玉公民館に向かっていましたが、その間に バス停がありませんでしたので、バス停があるルートを通った方がよいと 考えこのルートにしています。また、道路が狭いこともありましたのでこ のルートになっています。さらに、北玉区遊び場とホースガー前の中で降 りたいと、北玉区から要望がありました。当初はバス停ではないですが降 ろして欲しい高齢者の方がいて対応していましたが、それはやめて欲しい とバス会社からもあり新設することになりました。
委員：	現状から平日・休日ともに一便減り、朝の時間を遅くしていますが、第 6 便が現状の第 7 便より遅くなっています。現状でも最終便は利用率が低 いのですが、ターゲットは誰になっているのでしょうか。高齢者の利用を 考えれば、この時間は関係ないのではないのでしょうか。西海岸の観光客を ターゲットにしているのでしょうか。
事務局：	最終便の利用率が低いことはありますが、一便でも確保した方が良いと 考え設定しています。ターゲットを明確に決めて設定したわけではありま せん。高校前を通していますので、もしかすると部活の時間と合うと考え 少し遅い時間になっています。宿泊者については、確定はしていませんが、 西海岸の南北にもう一本通すことを検討しています。チェックインの時間 帯、ビーチの利用時間帯、飲食店に移動する時間帯をケアできればと考 えています。
委員：	高齢者については、データの集計方法を変えれば分析できると思います ので分析を進めて下さい。
委員：	産業まつり等のときに使える C-BUS の体験チケットを配ることをやっ てはどうかと思います。
委員：	中学生の運賃が 200 円は高くないでしょうか。美浜に行く子供達が多 くいますが、中学生にとって 200 円は高く感じると思う。
事務局：	中学生運賃に関しては、路線バスの料金が大人料金となっていますので 200 円で設定しています。イベントに合わせて町が負担する利用促進等 について検討したいと思います。
議長：	委員から意見がありました。イベントに合わせた臨時的なバスの運行 は可能なのでしょうか。
事務局：	法令的に可能なのか調べて実施可能であればやりたいと思います。
議長：	他に意見が無いようであれば、提案されている平成 30 年度北谷町コミ

	<p>ユニティバス実証運行実施計画について、提案通り承認頂いてよろしいでしょうか。</p> <p>委員～了承します。～</p> <p>4. 今後のスケジュールについて</p>
議長：	<p>それでは、今後のスケジュールについて事務局から説明をお願いします。</p>
事務局：	<p>今後のスケジュールについて説明</p>
議長：	<p>スケジュールについて説明がありましたがご質問・ご意見はありますか。</p>
委員：	<p>認可が下りていない情報を載せるのであれば、早めに調整をしていただきたいと思います。スケジュールに載せて認可が下りない事例がありましたので、スケジュールに合わせた調整をよろしくお願いします。</p>
委員：	<p>資料1にあるように、利用促進策をどのように検討しているのでしょうか。</p>
事務局：	<p>バスの車内が静かなので、文化施設などのアナウンスをしていこうと考えています。移動手段だけではなく、北谷町のいろいろなことを知ることができるようなことも検討しています。</p>
委員：	<p>我々バス事業者も運行ルートをどのように周知させるのかは大きな課題です。コミュニティバスについても広報をしっかりと欲しいと思います。パンフレットを作成して家庭に配るだけではなく、公民館の集会で説明するなど、そのような形で広報することが効果的だと思います。</p>
事務局：	<p>高齢者だけではなく、観光客もルートが分かりづらいということもありますので、沖縄県でも新しいシステムがありますので、そういったものと連携を図れるようにしていきたいと思います。地域のは自治会を利用していこうと考えています。</p>
	<p>5. その他</p>
議長：	<p>その他について事務局から連絡事項はありますか。</p>
事務局：	<p>特になし</p>
	<p>6. 閉会</p>
議長：	<p>本日は活発なご発言があり、また、平成30年度コミュニティバス実証運行実施計画の承認頂きありがとうございました。以上を持ちまして、第7回北谷町公共交通会議を終了いたします。</p>